

科 目		必・選	担 当 教 員	学年・学科				単位数	授 業 形 態				
政治・経済 Politics & Economic		必	小田 憲	3 年生 環境都市工学科				2	通年 週 2 時間				
授業概要		政治・経済の用語になじみ、基本的仕組みを理解しながら、現実の政治経済の動きを理解できるようになることを目指す。											
到達目標		情報・資料の読解能力を身につけ、自らの生活と生き方と関わって認識を高める。											
評価方法		定期試験（80％）、発表・提出物（20％）											
教科書等		「新政治・経済」（第一学習社）、配布プリント資料。											
内 容												学習・教育目標	
第 1 週	政治・経済をどのように学ぶか。ー社会認識の方法・学ぶことの意義ー										A		
第 2 週	基礎的な政治用語として政治と社会、政治の機能、権力の種類について学習。										A		
第 3 週	日本国憲法の源流として法の支配をめぐる歴史を学習。										A		
第 4 週	日本国憲法の源流として社会契約説の思想家ロック・ルソーの考え方を学習。										A		
第 5 週	日本国憲法の源流として市民革命（フランス革命・アメリカの独立）について学習。										A		
第 6 週	日本国憲法成立の背景としてのワイマール憲法と世界人権宣言について学習。										A		
第 7 週	日本国憲法成立の背景として自由民権運動から大正デモクラシーを学習。										A		
第 8 週	日本国憲法成立の背景として15年戦争の歴史と戦争の悲惨さを学習。										A		
第 9 週	第二次世界大戦後、国際社会に対する平和宣言ともいえる日本国憲法の成立を学習。										A		
第 1 0 週	日本国憲法の第 1 の柱である国民主権の原理と憲法の最高法規性について学習。										A		
第 1 1 週	基本的人権の中の自由権・平等権をめぐる現状と課題を具体的事例を通して学習。										A		
第 1 2 週	基本的人権の中の社会権をめぐる現状と課題を具体的事例を通して学習。										A		
第 1 3 週	平和主義について憲法前文と九条の理念と現状について学習。										A		
第 1 4 週	平和主義について現在の国際情勢との関係について学習。										A		
第 1 5 週	三権分立と議院内閣制に関して国会と内閣の関係について学習。										A		
第 1 6 週	三権分立と行政権で内閣の機能・権限・運営について学習。										A		
第 1 7 週	三権分立と司法権で裁判所と裁判をめぐる現状と課題を学習。										A		
第 1 8 週	現在の司法制度で裁判員制度について学ぶ。										A		
第 1 9 週	地方自治の原則と現状を学ぶ。										A		
第 2 0 週	経済のしくみとその歴史を学ぶ。										A		
第 2 1 週	資本主義経済成立の歴史を学ぶー産業革命を中心にー。										A		
第 2 2 週	現在の経済のしくみと現状を学ぶ。										A		
第 2 3 週	日本経済の歴史と現状を学ぶ。										A		
第 2 4 週	国際経済の歴史・しくみと現状を学ぶ。										A		
第 2 5 週	市場経済の機能について学ぶ。										A		
第 2 6 週	財政・金融のしくみと現状を学ぶ。										A		
第 2 7 週	国際貿易と為替相場について学ぶ。										A		
第 2 8 週	労働問題と労働関係の現状と課題を学ぶ。										A		
第 2 9 週	社会保障制度の現状と課題を学ぶ。										A		
第 3 0 週	環境問題と資源・エネルギー問題について学ぶ。										A		
(特記事項)			JABEEとの関連										
大きな政治・経済事件があった場合 など、予定を変更することがある。			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習	A	A	C	C	C	B	B	D	C	B
			・教育目標	○									

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。）

## 政治・経済ガイダンス

### (政治分野)

- 第 1 週 政治経済分野でも本質と現象、普遍と特殊などの社会科学で捉える訓練をする。
- 第 2 週 政治と社会、政治の機能、権力の特徴や特質について考える。
- 第 3 週 法の支配をめぐる歴史学習を通じてその思想について考える。
- 第 4 週 ロック・ルソーなどの社会契約説の考え方をたどり、民主主義の思想の源流について考える。
- 第 5 週 市民革命（フランス革命・アメリカの独立）を学習し、自由権・平等権の源流を探る。
- 第 6 週 ワイマール憲法と世界人権宣言についての学習を通して社会権・平和的生存権の源流を探る。
- 第 7 週 自由民権運動から大正デモクラシーを学習し、日本の民主主義の歴史を学ぶ。
- 第 8 週 15年戦争の歴史と戦争の実相を学習し、平和の大切さと戦争の悲惨さについて考える。
- 第 9 週 第二次世界大戦後の日本国憲法の成立過程を学習し、伏流としての民主主義の流れを考える。
- 第 10 週 象徴天皇制と国民主権の原理との関係と憲法の最高法規性について考える。
- 第 11 週 自由権・平等権の歴史と理念と具体的事例を学習し、自由・平等の大切さについて考える。
- 第 12 週 社会権の歴史と理念そして具体的事例を学習し、生存権の現状を把握しする。
- 第 13 週 憲法前文と九条の理念と現状について学習し、平和的生存権の大切さについて考える。
- 第 14 週 現在の国際情勢を学習し、平和主義との関係について考える。
- 第 15 週 議院内閣制の歴史を学び国会と内閣の緊張関係について考える。

- 第 16 週 行政権の内閣の機能・権限・運営について学習し、そのその現状と課題について考える。
- 第 17 週 司法権の独立の理念や理想を学習し裁判をめぐる現状と課題について考える。
- 第 18 週 裁判員制度の概要と裁判の実情・課題について考える。
- 第 19 週 地方自治の原則を学び、地域の現状と課題について考える。

### (経済分野)

- 第 20 週 経済のしくみと歴史の歩みを学習し、経済的活動の意味について考える。
  - 第 21 週 産業革命を通して資本主義経済が成立する過程を学ぶ。
  - 第 22 週 景気変動を伴う現在の経済のしくみと特徴を学ぶ。
  - 第 23 週 明治維新から戦前・戦後の日本経済の歴史を学び、その特徴・特質について考える。
  - 第 24 週 世界恐慌から戦後の国際経済の歩みを学ぶ。
  - 第 25 週 需要と供給の関係で成り立つ市場経済の機能について学ぶ。
  - 第 26 週 現在の経済活動の中での財政・金融のしくみの特色と現状を学ぶ。
  - 第 27 週 国際貿易の歴史と現状を為替相場に焦点を当てながら学ぶ。
  - 第 28 週 就職して働く立場にたって労働問題と労働関係の現状と課題について考える。
  - 第 29 週 生活者という視点に立って社会保障制度の現状と課題について考える。
  - 第 30 週 生活や生活環境という視点にたって環境問題と資源・エネルギー問題について考える。
- ※「政治・経済」に関わって世界や国内で起こったニュースを適宜教材化して授業で取り上げる。